

第100回スタディグループ分科会(2022年度WG2発表会)結果報告

運営委員長 田島 洋

(文責:平野)

1. 開催日時 2023年1月24日(水) 14:30~17:00
2. 開催場所 文京シビックセンター5F区民会議室A(Zoomオンラインとの併用)
3. テーマ 「100%子会社監査役の役割」~100%子会社監査役ならではの「もやもや」って…
4. 発表者
 - リーダー 深谷和章氏 王子木材緑化(株) 常勤監査役
 - メンバー 斎川祐一氏 元・住友商事フィナンシャルマネジメント(株) 常勤監査役
 - 南波裕樹氏 大成設備(株) 常勤監査役
 - 竹村 登 氏 昭和リース(株) 常勤監査役
5. 出席者 41名(会場リアル参加11名、Zoomオンライン参加30名)
6. 事前配布資料
 - ・事前配布用レジュメ
 - ・メンバー会社情報
 - ・もやもやレーダーチャート自由記入用紙
7. 発表と質疑の内容
 - 1) 主な発表内容
 - ①各社の会社情報とメンバー紹介。WG2のテーマと問題意識、議論の過程を説明。(深谷氏)
メンバーが所属する各社と親会社との関係の多様性の中に潜む共通した「もやもや感」に着目、数値化して比較対照してみることにした。
 - ②「もやもやチャート」についての説明。(竹村氏)
100%子会社監査役の悩みを出し合い、共通の認識があった11に絞り込み、もやもや軸と命名。
メンバーの自己評価スコア(もやもや度)を5段階で記入して、レーダーチャート(もやもやチャート)を作成。11の軸を「執務内容」「個人のモチベーション」「環境」の3つのもやもやセクターに分類、メンバーの平均スコアと各自のスコアとの開きにも注目、各自分析を行った。
 - ③深谷氏(HD制の100%子会社)、竹村氏(M&Aで親会社が替わった)、南波氏(独立心旺盛な100%子会社)、斎川氏(親会社の機能アウトソース会社)の順で、各社の事例紹介。自分のチャートの特徴、最も「もやもや」を感じた事例と対処術などを説明した。
【10分休憩】
 - 2) 質疑、感想
 - ・(会場から) 株主がひとり(親会社だけ)ということで視野が狭くなってはいないだろうか。ステークホルダーは誰なんだろう、お客様を意識してもっと広い視野で見ないといけないのでは。
 - ・(会場から) 親会社の監査役であろうと100%子会社の監査役であろうと、その監査内容に差異はないのではと感じる。皆さん、親会社の視点で監査しているわけではなくて、独立した立場で、その会社を良くするために監査されていることがわかった。私もその考え方に同感だ。

- ・(会場から) 1年前に常任監査役に就任して、自分のレポートライン、実質的な上司というのが一体誰なのか模索しながらやってきた。実質的な監査をやる本質的なレポートラインと、形式的なレポートラインを使い分けながらやらざるを得ないというところがある。
- ・(会場から)「もやもや」をパワーに変えるというのはすばらしい。子会社の悲哀と書かれていたが、親会社の子会社を見る位置づけを変える手法みたいなものを話し合われたか教えていただきたい。
- ・(Zoom参加の金馬副会長から) 発表を聞いて、100%子会社の監査役の皆さんにとって、監査部会の既存の6つのセミナー、勉強会だけでよいのかと感じた。こんなことをやって欲しいというものがあったら教えていただきたい。

3) まとめ(深谷氏から)

100%子会社と言っても会社の状況、立場は千差万別。メンバーで議論する中で、なかなか解決策まで見つけることはできなかった部分もあるが、監査役としての活動に皆さんがやる気を感じてくれたとしたら有意義だった。今後もSGの活動の中で情報収集しながら、やる気を高めていけたらよいのではないかな。

8. 田島委員長より連絡事項

- ・次回は5週連続の3回目、2月3日(金)14時30分～17時。WG6の発表、テーマは「期中監査の具体的方法」。申込み受付中なので、積極的なご参加を。
- ・2月1日に来年度のテーマの募集をメルマガで開始する(締切は2月24日)。4月初めにメンバーの募集、5月末にメンバーを決定したい。7月に全体のキックオフを予定している。

以上